

鹿食害対策用金網

しかと かなあみ

鹿止金網

鹿止金網は
のり面緑化に使用する、
鹿食害対策用の特殊構造金網です。

植生マット・シートの上に敷設することで、
ニホンジカによる食害から緑化植物を守ります。



4つの効果で
ニホンジカから、
緑化植物を守ります！

草丈を確保し
成長点を守る

生育基盤を
踏ませない

メンテナンス
軽減

緑化基礎工の
効果を発揮

草丈の確保



緑化工で主に用いられるイネ科植物は、根本付近に成長点を持ちますが、鹿の摂食は根本付近にまで及ぶため、衰退・枯死が生じてしまいます。

一方、代表的な緑化植物であるトールフェスクは、芝の管理の際に下限刈高3cmを目安に刈り込まれます。つまり、この草丈を確保できれば、たとえ食害にあったとしても、成長点が守られ、牧草の枯死は免れます。

鹿止金網併用工は3cmの厚みがあるため、鹿に摂食されても3cm以上の草丈を確保することができます。



直接踏ませない

鹿が原因の植生不良には食害の他に「踏み荒らし」が挙げられます。摂食のために鹿が施工箇所に侵入し、その際の踏圧により生育基盤が流亡してしまったり、植物体が踏みつぶされてしまったりします。



鹿止金網は鹿の足より小さい4cm×4cmの網目になっているため、鹿は摂食の際に金網の上を歩くこととなり、生育基盤や植物体が直接踏まれることはありません。

メンテナンスの軽減

鹿の侵入を防ぐ防柵などは、動物・倒木・雪などで倒れてしまったり、ネットがたわんでしまったりするため、施工後の頻繁なメンテナンスが必要です。一方、鹿止金網併用工は、一度施工すれば金網が形状を保つ限り効果を発揮し続けるため、施工後のメンテナンスが大幅に軽減され、手間を省くことができます。



緑化基礎工の効果

植生工を施工する場合にそれ単独では施工が困難な場合に緑化基礎工を採用します。

鹿止金網併用工は緑化基礎工の効果と鹿食害対策の効果を併せ持つ工法です。

立体構造の鹿止金網は地山にしっかりと密着しますので、一般的な緑化基礎工である金網張工と同様に、生育基盤を押し込み安定させる効果があります。

凹凸の激しい法面や勾配の急な法面、積雪地域などでも安定した緑化が期待できます。



製品仕様

製品名	鹿止金網
規格	亜鉛めっき2種 φ2.0 40×40×30
寸法	巾2m×長さ5m
質量	15.5kg

※製品の改良のため、予告なく変更する場合があります。



総販売元

■日本植生株式会社

営業課	〒708-8652 岡山県津山市高尾 573-1	TEL.0868(28)0460	FAX.0868(28)4850
二色浜事業所	〒597-8501 大阪府貝塚市二色中町 11-1	TEL.072(432)9809	FAX.072(432)9128
東京営業所	〒120-0043 東京都足立区千住宮元町 13-13 千住MKビル 3F	TEL.03(5244)1392	FAX.03(5244)1322
大阪営業所	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-14-33 TCSビル 3F-A号室	TEL.06(6388)8283	FAX.06(6388)8449